

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	交通安全教育推進事業	所管	市民経済部 交通安全課
			Tel 2998-9140

事業の目的 (何の為に 行うか)	園児・学童の交通安全に対する理解を深めるための教育を行う。また、高齢者の加齢に伴う身体機能の変化が自転車の乗り方に及ぼす影響を理解させるための教育を行う。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	園児・学童・高齢者	対象とした数	31,240	人
		実際に 利用した数	21,454	人

活動の内容	(何を したか)	<p>○保育園・幼稚園・小学校からの依頼に基づく交通指導員が講師になっての交通安全教室の実施。 ○小学4年生以上を対象としたこども自転車運転免許の実施。 ○高齢者自転車運転免許の実施。</p>									
活動実績	項目名	参加人員	21454	項目名	交通安全教室開催回数	68	項目名	高齢者・こども自転車運転免許	3	単位	回
			----- 単位 人			----- 単位 回			----- 単位 回		

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	270	466	4,130	12.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	参加率	参加人数÷対象者数	100	68.7	68.7
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]									
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止									
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了									

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了										
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了									
	予算	現状どおり 増額 減額 終了									

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	031000	TEL	2998-9140		
事業コード	交通安全教育推進事業							
031007	交通安全教育推進事業							
開始年度		昭和	47	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針				所沢市交通指導員設置規程
	関連・類似事業	交通事故防止啓発・交通安全所管事業			
	総計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	4節 交通安全
				中柱	1 交通安全思想の普及徹底
			小柱	(1)生涯にわたる交通安全教育の充実	
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 14 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	市民の知りたい情報の提供			コード
	1111				
	事業開始の背景	昭和40年代の車社会の到来により交通事故が多発傾向であった。特に交通弱者といわれる学童等歩行者の交通安全を確保することを目的として、交通安全教室が実施された。			

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)								
	園児・学童の交通安全に対する理解を深めるための教育を行う。また、高齢者の加齢に伴う身体機能の変化が自転車の乗り方に及ぼす影響を理解させるための教育を行う。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方					
	園児・学童・高齢者			交通安全教室、高齢者自転車運転免許参加人数					
	対象数	単位	平成 18 年度	29,456	人	利用数	単位	平成 18 年度	22,331
		平成 19 年度	31,240	人			平成 19 年度	21,454	人
	事業の具体的な内容及び実施方法								
	○保育園・幼稚園・小学校からの依頼に基づく交通指導員が講師になっての交通安全教室の実施。 ○小学4年生以上を対象とした子ども自転車運転免許の実施。 ○高齢者自転車運転免許の実施。								

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点			
	私立幼稚園の交通安全教室への参加が少ないことから、参加の呼びかけを行い3園で実施した。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		270	270	239
	決算 (見込み含む)		807	466	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 )	( 人 ) ( 人 )		
	正規職員人件費	0.89 人	8,188	0.39 人	3,664
	公債費				
	事業費合計		8,995	4,130	
	財源内訳	一般財源	8,995	4,130	239
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	26.6	12.2		
	利用数一単位あたり(単位:円)	402.8	192.5		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	参加人員	総参加人数	人	22,331	21,454	21,500		
	交通安全教室開催回数	開催回数	回	65	68	70		
	高齢者・子ども自転車運転免許	開催回数	回	3	3	4		
	成果分析	参加率	参加人数÷対象者数	%	目標値	100	100	100
				実績	75.8	68.7	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
				%	達成率	75.8	68.7	1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	○交通安全教室の対象を拡大する。 ○私立幼稚園への積極的な参加の呼びかけを行う。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	保育園・幼稚園・小学校における交通安全教室、小学4年生以上を対象とした子ども自転車運転免許、高齢者自転車運転免許を実施する。	参加者を19年度実績以上とする。	平成20年度中
	私立幼稚園に交通安全教室の実施を呼びかける。	すべての私立幼稚園に呼びかけ、多くの参加者を促す。		
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	児童等の交通安全に対する知識の習得と、交通事故が多い高齢者の自転車利用上の交通ルール等に関する理解に一定の成果をあげていることから、引き続き事業を推進していく。		
	評価日	平成20年5月20日	記入者職氏名	交通安全課長 糟谷 守

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	171	311
	施策の体系	1-7交通安全対策	施策の方向	1-7-1交通安全管理の推進	
		3-1地球温暖化の防止		3-1-1エコ・モビリティの推進	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	3241	
	基本目標	3子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります			
	主要課題	2子育てに快適な環境づくり			
	施策の方向	4交通安全対策の充実			